

風景を切り取る③ – 変わる森の風景 –

そこは、見渡す限りゴムの木が植わっていた。

幹線道路から少し入ったゴム農園は、切り開かれたばかりなのだろうか、まだトラックのタイヤの跡も残る場所も多い。周辺の風景とは異質な均質性を保っている整然としたゴムの木の並ぶはるか先に、黒々とした森が見えた。森の縁に立つ大きな木々は不自然に白い幹をさらし、森がそこで切り取られたことを静かに示している。このラオス南部のアタプー県で、ゴム農園に貸し出された土地がいったいどれくらいになるのか、同行した農業部の職員は答えられなかった。南部でのゴム栽培は主にベトナム企業の投資によって行われているが、北部は中国企業が多いという。(撮影2009年8月)



メコン河開発メールニュース

メコン・ウォッチでは、メコン河の開発と環境に関する情報をメールニュースとしてお届けしています。各国の新聞報道の翻訳の他、メコン河流域国に影響を及ぼす政府開発援助（ODA）、世界銀行・アジア開発銀行など国際金融機関、日本企業の投資などに関する情報、イベント案内などもお送りしています。

メコン河開発メールニュースは下記のサイトから登録できます（無料）。

<http://www.mekongwatch.org/resource/mailnews.html>